

臨地実習

精神看護（90時間）

精神看護実習では、精神を病む患者を一人の人間として理解し、対象者の特徴と健康な部分に目を向けた日常生活支援および社会生活を支援するための援助が必要となる。精神を病む人との関わりでは、対象者を病者とみるがあまり、対象者の症状や病的な側面にばかり目が向いてしまうことがある。対象者自身が自分の満たされないニーズに気づき、本人が持っている力を引き出し、自分自身で生きていく力を伸ばすことができるための援助的な人間関係の形成について考え、精神を病む人の経験世界を知るために言語的・非言語的コミュニケーションから得た情報にとどまらず、「患者の心理」で学んだ知識や「精神看護」「看護概論」の対人関係の理論などを使って考え、精神を病む患者が、いま感じていること、考えていることについて理解しようとする態度を身につけて、援助的な人間関係の形成や精神科看護に必要な基本的な看護実践能力を養う内容とする。

また、「生きにくさ」を抱え地域で生活する人とのかかわりを通して、孤立感を緩和し多職種と連携しながら、対象者の自信や意欲を取り戻す理解や支援について学ぶ。

<目的>

精神を病む患者を一人の人間として捉え、対象者の特徴と患者のニーズを理解し、日常生活および社会生活を支援するための援助的な人間関係や看護を探究する能力を養う。

<目標>

1. 精神を病む患者が、いま感じていること、考えていることについて理解する。
2. 援助的な人間関係の形成や看護に向けて探究心をもち努力する。
3. 地域の中で生活する対象者の孤立感を緩和し、自信や意欲を取り戻す共感的な理解や支援とは何かを理解する。

教育内容	科目名	時間数
精神看護実習	病棟・精神科デイケア実習	90
	小計	90

科目名	精神看護 病棟実習・精神科デイケア実習				DP1、DP2、DP3 DP4、DP5、DP6	看護高等課程				
学年	2年	分野	専門 臨地実習 精神看護	時間数	90時間	科目 責任者	専任 教員	担当 教員	専任教員	
科目 概要	精神看護実習では、精神を病む患者を一人の人間として理解し、対象者の特徴と健康な部分に目を向けた日常生活支援および社会生活を支援するための援助の基本を習得する。病棟実習やデイケア実習を通して、精神を病む患者が、いま感じていること、考えていることについて理解し、援助的な人間関係の形成や精神科看護の基礎的能力を習得する。									
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神を病む人の看護では、対象者の安全のために必要な治療環境や人権の保護を考えた環境のあり方について理解を深めることができる。 2. 病棟の看護目標に沿った日常生活の援助や診療の補助を助言を得ながら見学・実施することができる。 3. 言語的、非言語的コミュニケーションを活用し相手の事を知ろうとするこの意味が解る。 4. 自分と対象者との関係の中で生じる自分の感情を手がかりに自己理解を深めることができる。 5. デイケアの目的と役割を考えて、利用者にとっての必要性や意味が解る。 6. 生きにくさを抱える精神を病む人を理解しようとする態度から学んだ、援助的な人間関係と生活支援の看護がわかる。 									
	実習場所		授業内容				形態	担当教員		
	病棟 学内 デイケア		<p>実習期間：施設内（10日間）</p> <p>実習時間：8：30～16：00（実習時間9時間）</p> <p>実習先：医療法人 唐虹会 虹と海のホスピタル</p> <p>実習方法：学生2～3名を1グループとし9日間の病棟実習と1日間の精神科デイケア実習を行う。</p> <p>実習の詳細：、精神科病棟に入院している対象者を1名受け持ち、9日間の実習と1日はデイケア実習を行う。保護室見学、多職種（臨床心理士・作業療法士）オリエンテーション、プロセス検討会も行う。</p> <p>詳細は実習要項を参照する。</p>				実習	専任教員		
評価 基準	総合評価が100点となる。									
評価 方法	出席状況と実習への参加態度、行動などで総合的に評価する。パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。									
教科書	必要な教科書は実習オリエンテーション時に提示する。また、適宜資料を配布する。									
履修上の 注意点	精神看護実習で、患者との関わりについて判断に困った際は、臨床指導者・指導教員へ積極的に相談を行い、コミュニケーションの工夫や対応を学ぶ努力をすること。									